

### 一般質問(要旨)

#### ●質問者

3月4日(火)

館 静馬 議員  
(いばらき自民党)

設楽 詠美子 議員  
(民 主 党)

先崎 光 議員  
(いばらき自民党)

3月5日(水)

萩原 勇 議員  
(いばらき自民党)

稲葉 貴大 議員  
(無 所 属)

萩津 和良 議員  
(いばらき自民党)

3月6日(木)

八島 功男 議員  
(公 明 党)

神達 岳志 議員  
(いばらき自民党)

鈴木 定幸 議員  
(いばらき自民党)

3月7日(金)

川口 政弥 議員  
(自民県政クラブ)

下路 健次郎 議員  
(いばらき自民党)

川津 隆 議員  
(いばらき自民党)



議員 静馬 俊次  
いばらき自民党 水戸市選出 分割方式

#### 茨城国体開催に向けた県立体育施設の整備

議員 平成三十一年の茨城国体開催に向け、老朽化した県営の東町運動公園体育館を、水戸市が県に代わって建て替えること、また、その場合の財政支援などについて知事の所見は。

知事 建て替えによって、国体の成功や本県スポーツの発展、県都水戸市の活性化などが期待される。今後、市から具体的な提案があったときは、手厚い補助を含め前向きに検討し、建て替えが実現できるように協力していく。

#### 待機児童対策

議員 県内では、この五年間で保育所の定員が約五千人増加したが、保育士不足が問題になっている。潜在保育士を掘り起こし、職場復帰を促すための取り組みは。

保健福祉部長 平成二十六年度に潜在保育士に対するアンケート調査を実施して実態を把握する予定である。それらを踏まえ、再就職希望者には、福祉人材センターへの登録を促すとともに、再就職に係る情報提供を行うっていく。

(ほか)に、教科書採択制度、借楽園の魅力向上なども質問



築50年が経過した東町運動公園体育館(水戸市)



議員 詠美子 設楽  
民 主 党 西 市 選出 分割方式

#### 在宅医療・介護の充実

議員 県民の六割以上の方が自宅で生涯を全うしたいと希望しており、支援が必要があると考えるが、今後、在宅医療・介護をどのように充実していくのか。

保健福祉部長 在宅医療・介護の連携体制づくりのモデル事業を拡大し、二次保健医療圏ごとに一箇所程度を目安に実施していく。また、地域の見守り機能や家族への支援などをさらに充実し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境づくりに取り組んでいく。

#### ストーリーカーやDVに悩む女性への支援の充実

議員 ストーリーカーやDVの取り扱い件数が昨年過去最多となった。被害女性への支援の充実は。

警察本部長 ストーリーカーやDV事案などに迅速、的確に対応するため、人身安全対策室を新設するとともに、女性警察官による女性安心パートナーを増員し、支援体制の充実を図る。また、新体制発足にあわせ、女性専用の相談電話の設置、運用開始の準備を進める。

(ほか)に、問題行動のある子どもたちを地域で育てる体制づくり、農業の災害対応なども質問



電話相談に応じる女性警察官(女性安心パートナー)



議員 光 先崎  
いばらき自民党 那珂市選出 分割方式

#### グリーンふるさと振興機構の解散を踏まえた県北振興への取り組み

議員 グリーンふるさと振興機構が組織を解消すると聞いているが、これまでの取り組みの成果や課題を踏まえ、今後、県北振興にどう取り組んでいくのか。

知事 これまでの取り組みを踏まえ、今後五年をかけて震災復興などの五つの重点プロジェクトを実施する。また、次長級の県北振興監及び県北振興課を設置し体制強化を図るとともに、県北六市町とのトップ会談の開催を検討するなど、県北振興に全力で取り組む。

#### 茨城県植物園など自然観察施設の利用促進

議員 県植物園など自然観察施設では、近年、老朽化や利用者の減少などの課題があり、対策が必要である。利用促進のために、どのように取り組んでいくのか。

農林水産部長 専門家を交え老朽化対策を含めた施設の保全管理方針などを検討するとともに、新たなイベントの実施や積極的な情報発信、さらには、体験学習での利用を働きかけることなどにより、利用促進を図っていく。

(ほか)に、道路環境の整備、反射材の普及促進なども質問



茨城県植物園(那珂市)



議員 勇 萩原  
いばらき自民党 龍ヶ崎市選出 一括方式

#### 異常気象に対応した情報収集・情報提供体制の強化

議員 県民の生命・財産を守るため、異常気象への対応を含め、県民の目線に立ち、市町村を含めた部局横断的な情報収集・提供体制の充実強化を図る必要があるが、どのように取り組んでいくのか。

生活環境部長 県庁や各出先機関、市町村、消防本部などを結ぶ防災情報ネットワークシステムの再整備を進め機能強化を図るとともに、地域防災計画の改定を進めるなど、県民に必要な情報が迅速かつ確実に伝達できるよう努めていく。

#### 消防職員の技術力向上

議員 自然災害や火災・事故などの多様化、大規模化に伴い、高度化する消防職員の教育・訓練内容についての充実強化の取り組みは。

生活環境部長 最新の知識や技術を習得できるように、県消防学校のカリキュラムなどを随時見直ししている。また、消防大学校に多くの人員を派遣できるように国と調整するとともに、職員の海外派遣制度の積極的な活用を消防本部に促す。

(ほか)に、東北三県被災地への職員派遣、北竜台防犯ステーションの交番化なども質問



県消防学校における訓練状況

#### 福島・茨城・栃木・群馬・新潟五県議会議長会が開催されました

二月四日から五日にかけて、群馬県高崎市において、第九回福島・茨城・栃木・群馬・新潟五県議会議長会が開催され、飯塚秋男議長と菊池敏行副議長が出席しました。会議では、「外国人観光客の対応等」をテーマとして協議が行われ、特定非営利活動法人東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック招致委員会事務局長から東京二〇二〇オリンピック・パラリンピックについて、さらに観光庁担当課長より東京オリンピック・パラリンピックを踏まえた観光地域づくりについて講演が行われた後、各県の取組状況について、説明しました。

意見交換では、飯塚議長が福島県の風評被害の状況の説明などを踏まえ、本県も状況は同じであることから、五県で国へ風評被害に関する陳情を行うよう提案し、了承されるなど、活発な議論が行われました。



意見を述べる飯塚秋男議長(左側が菊池敏行副議長)